

第51期

決 算 公 告

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

株式会社オークラ ニッコー ホテルマネジメント

貸借対照表

2021年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	千円 (10,581,757)	流動負債	千円 (2,535,736)
現金及び預金	25,845	未払金	659,672
売掛金	543,928	未払費用	511,489
リース投資資産	117,069	リース債務	117,069
貯蔵品	20,711	未払法人税等	3,169
前払費用	35,976	未払消費税等	71,895
立替金	532,213	前受金	19,048
未収入金	151,570	預り金	1,122,497
短期貸付金	9,120,169	賞与引当金	30,895
その他の金	35,292		
貸倒引当金	▲1,020		
固定資産	(3,983,158)	固定負債	(5,828,340)
(有形固定資産)	(34,807)	長期借入金	200,000
建物	9,221	長期未払金	32,265
工具器具備品	25,586	リース債務	760,951
		長期預り保証金	1,350,000
(無形固定資産)	(244,455)	商品券回収引当金	9,676
のれん	190,088	退職給付引当金	120,803
ソフトウェア	49,658	役員退職慰労引当金	39,278
施設利用権	3,293	関係会社事業損失引当金	3,311,842
商標	1,414	資産除去債務	3,523
		負債合計	8,364,077
		純資産の部	
(投資その他の資産)	(3,703,895)	(株主資本)	(6,178,260)
投資有価証券	309,566	資本金	4,272,000
関係会社株式	296,778	資本剰余金	27,116
関係会社出資金	68,492	資本準備金	26,895
リース投資資産	760,951	その他資本剰余金	220
長期貸付金	21,854	利益剰余金	1,879,143
長期未収入金	69,313	利益準備金	140,976
差入保証金	1,705,488	その他利益剰余金	1,738,167
繰延税金資産	403,532	繰越利益剰余金	1,738,167
その他の金	73,923	(評価・換算差額等)	(22,578)
貸倒引当金	▲6,006	その他有価証券評価差額金	22,578
		純資産合計	6,200,838
資産合計	14,564,915	負債・純資産合計	14,564,915

損 益 計 算 書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

科 目	金 額	金 額
	千円	千円
売 上 高		2,160,594
営 業 費 用		2,948,028
営 業 損 失		787,434
営 業 外 収 益		302,111
受 取 利 息	40,938	
受 取 配 当 金	15,550	
為 替 差 益	12,702	
関係会社事業損失引当金戻入益	103,836	
助 成 金 収 入	117,280	
そ の 他	11,803	
営 業 外 費 用		1,152
支 払 利 息	680	
そ の 他	471	
経 常 損 失		486,476
特 別 損 失		3,342,341
固 定 資 産 処 分 損	559	
関係会社株式評価損	29,939	
関係会社事業損失引当金繰入額	3,311,842	
税 引 前 当 期 純 損 失		3,828,818
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	72,543	
法 人 税 等 調 整 額	▲ 14,127	58,415
当 期 純 損 失		3,887,233

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 : 子会社株式、関連会社株式及び関係会社出資金は移動平均法による原価法
その他有価証券のうち時価のあるものは決算日の市場価格等による時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
その他有価証券のうち時価のないものは移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 : 移動平均法による原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- (3) 固定資産の減価償却の方法 : 有形固定資産は定額法
主な耐用年数は次のとおりであります。
建物は 5年～24年、工具器具備品は 2年～15年
無形固定資産は定額法
主な耐用年数は次のとおりであります。
自社利用のソフトウェアは5年、のれんは6年
- (4) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金 : 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金 : 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ③ 商品券回収損引当金 : 当社が発行している商品券の未回収分のうち、発行から一定期間経過後に収益に計上したもののについて、将来の回収時に発生する損失に備えるため、過去の実績に基づく使用見込額を計上しております。
- ④ 退職給付引当金 : 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
退職給付の算定に当たり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数 (7年) による定額法により按分した額を、それぞれ発生の日翌事業年度から費用処理しております。
- ⑤ 役員退職慰労引当金 : 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
- ⑥ 関係会社事業損失引当金 : 関係会社の事業に係る損失に備えるため、関係会社の財政状態等を勘案し、当該関係会社への投融資額を超えて負担が見込まれる額を計上しております。
- (5) 消費税及び地方消費税の会計処理 : 税抜方式によっております。
- (6) 連結納税制度の適用 : 連結納税制度を適用しております。

2. 表示方法の変更に関する注記

- (「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用) : 「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度の年度末に係る計算書類から適用し、計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

3. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る連結計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

繰延税金資産 403,532千円

繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積っております。

当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。□
当社は、新型コロナウイルス感染拡大により、当グループにおいてはインバウンドの減少や飲食宴会等の自粛等によりチェーンホテルの業績とそれに伴う当社の業績に多大な影響が生じております。

税効果会計におきましては新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ2021年以降の一定期間においても、当該影響が継続すると仮定し会計上の見積りをおこなっております。

4. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 :	17,748千円
(2) 保証債務	
株式会社グランドニッコー東京 (オペレーティング・リース債務) :	27,230,493千円
Hotel Nikko of San Francisco, Inc. (借入金) :	110,710千円 (1,000千US\$)
(3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権 :	9,573,151千円
長期金銭債権 :	765,951千円
短期金銭債務 :	166,582千円
長期金銭債務 :	1,550,000千円

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
関係会社株式評価損	1,064,053 千円
ポイント預り金	338,923 千円
投資有価証券評価損	98,870 千円
退職給付引当金	36,990 千円
賞与引当金	9,460 千円
関係会社事業損失引当金	1,014,086 千円
未払費用	11,283 千円
未払事業税	485 千円
繰越欠損金	62,191 千円
その他	29,204 千円
繰延税金資産小計	2,665,549 千円
評価性引当額	▲ 2,252,051 千円
繰延税金資産合計	413,497 千円
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	9,964 千円
繰延税金負債合計	9,964 千円
繰延税金資産の純額	403,532 千円

6. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (注5)	科目	期末残高
親会社	株式会社ホテル オークラ	被所有 直接80.3%	信用供与 役員の兼務 出向者受入 金融取引	資金の貸付 (注1、2)	380,954	短期貸付金	9,118,955
				商標の使用 (注3)	317,759	未払費用	225,990
主要株主	日本航空株式会社	被所有 直接11.1%	商標の使用契約 の締結 役員の兼務	商標の使用 (注4)	39,967	未払費用	43,964

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 取引条件は市場価格に基づき決定しております。
(注2) 金利等については、市場金利に基づき合理的に決定しております。
(注3) 商標使用許諾契約に基づき行っております。
(注4) 商標等使用契約に基づき行っております。
(注5) 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 子会社及び関連会社等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (注7)	科目	期末残高
子会社	株式会社ホテル 日航大阪	所有 直接100%	ライセンス許諾 契約の締結 マーケティング サービス契約の 締結 役員の兼務 出向者受入 連結納税	ライセンス料 並びにマーケ ティングサー ビス料の收受 (注1)	25,097	売掛金	3,017
				不動産賃借料 の立替 (注2)	1,813,497	立替金	151,736
				建物ファイナ ンスリース料 の收受(注 2)	103,375	リース投資資 産	878,020
				建物に係る敷 金の受取 (注2)	200,000	長期預り 保証金	1,350,000
				連結納税 個別帰属額	58,566	未払金	58,566
子会社	株式会社グランド ニッコー東京	所有 直接95.0%	ライセンス許諾 契約の締結 マーケティング サービス契約の 締結 役員の兼務 出向者受入 債務保証	ライセンス料 並びにマーケ ティングサー ビス料の收受 (注1)	41,310	売掛金	6,066
				債務保証 (注3)	27,230,493	—	—
子会社	株式会社オークラ ニッコーホテルマネ ジメント金沢	所有 直接100%	役員の兼務 金融取引	資金の借入 (注4、5)	200,000	長期借入金	200,000
子会社	Hotel Nikko of San Francisco, Inc.	所有 直接100%	役員の兼務 債務保証	債務保証 (注6)	110,710 (1,000千 US\$)	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) ライセンス許諾並びにマーケティングサービス契約に基づき行っております。
(注2) 定期転貸借契約に基づき行っております。
(注3) 榎グランドニッコー東京に対する債務保証は、同社の建物のリース債務に対するものであります。
(注4) 取引条件は市場価格に基づき決定しております。
(注5) 金利等については、市場金利に基づき合理的に決定しております。
(注6) Hotel Nikko of San Francisco, Inc. に対する債務保証は、同社の借入金に対するものであります。
(注7) 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 兄弟会社等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (注3)	科目	期末残高
親会社の子会社	株式会社ホテル オークラ東京	なし	販売提携契約の 締結 出向者受入	出向者人件費	643,100	未払費用	76,804
親会社の子会社	株式会社ホテル オークラ東京ベイ	なし	運営受委託契約 の締結 出向者受入	運営受託料の 收受(注1)	45,289	売掛金	17,445
親会社の子会社	Hotel Okura Amsterdam B.V.	なし	運営受委託契約 の締結	運営受託料の 收受(注2)	23,136	売掛金	40,756

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 運営委託契約に基づき行っております。

(注2) Management Agreement に基づき行っております。

(注3) 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

7. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	725円75銭
1株当たり当期純損失	454円97銭

8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

9. その他の注記

金額単位については、千円未満を切捨てて表示しております。